

# アルファテック340 (S/W)

アルファテック340は乾燥面の接着はもとより濡れたコンクリートと金属の双方に優れた接着性を示す高機能なエポキシ樹脂です。低粘度で可使用時間が長く作業性に優れ、水中におけるコンクリート建造物のひび割れ補修やアンカーボルトの定着、新旧コンクリートの打継ぎ面接着などに適します。



- ・JWWA K 143(水道用コンクリート水槽内面エポキシ樹脂塗料塗装に関する規定)適合品
- ・JIS A 6024(建設補修用注入エポキシ樹脂)硬質形低粘度形適合品
- ・構造物施工管理要領(東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)、西日本高速道路(株))ひび割れ注入工法用エポキシ樹脂系ひび割れ注入材品質規格(1種)適合品

## 主な特徴

- 水中硬化 水中硬化で高い圧縮、曲げ、引張、接着強度を示し耐久性に優れます。
- 作業性 低粘度で可使用時間が長く作業性に優れます。
- 安全性 日本水道協会規格「JWWA K 143」の基準を満たし、水道管内部にも使用が可能です。

## 主な用途

- 気中および水中のコンクリート建造物のひび割れ、打継ぎ・ジャンカ等の注入補修
- 気中および水中のコンクリート建造物の鋼板接着やアンカーボルトの定着
- 新旧コンクリートの打継ぎ面接着
- 連続繊維シート接着工、コンクリート保護工、防水工の下地処理
- セメントモルタルやレジンモルタルのタックコート

## アルファテック340シリーズ

	タイプ	混合粘度(mPa·s)	JIS A 6024適合品	NEXCO適合品	ひび割れ幅
アルファテック340	硬質形・低粘度	600±100 (S) 500±100 (W)	硬質形・低粘度	1種*	0.2～5.0mm
アルファテック340-II	軟質形・中粘度	7000±2000	—	2種*	0.2～5.0mm
アルファテック340-III	軟質形・低粘度	600±200	—	3種*	0.2～5.0mm

※適応ひび割れ幅は目安ですのでご注意ください。

## テクニカルデータ

未硬化物の性状(23℃)	アルファテック340S(夏用)		アルファテック340W(冬用)	
	主剤	硬化剤	主剤	硬化剤
主成分	変性エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン	変性エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン
外観	淡黄色	褐色	淡黄色	褐色
外観(混合)	淡黄色		淡黄色	
混合比(重量)	2	1	2	1
混合比(容量)	100	54	100	54
粘度(混合)	600±100mPa·s		500±100mPa·s	
比重	1.10±0.05		1.10±0.05	
指触乾燥時間	6時間		4時間	
可使用時間	50分		30分	

テクニカルデータ

1. JIS A 6024 (建築補修用注入エポキシ樹脂) 品質規格に基づく試験  
国土交通省土木補修用エポキシ樹脂注入材1種適合品

試験項目	単位	試験条件	アルファテック340S	アルファテック340W	JIS規格値
粘性	mPa·s	23±0.5℃	600	500	100~1000
接着強さ	MPa	標準	6.5 MF	6.5MF	6.0 以上
		湿潤	5.0 MF	5.0MF	3.0 以上
		乾湿繰り返し	5.0 MF	5.0MF	3.0 以上
硬化収縮率	%	標準	1.5	1.5	3.0 以下
加熱変化	%	質量変化率	3.3	3.1	5.0 以下
		体積変化率	2.7	3.0	5.0 以下
引張強さ	MPa	標準	30	30	15.0 以上
伸び率	%	標準	3.0	2	10.0 以下

2 NEXCO 構造物施工管理要領 ひび割れ注入工法用エポキシ樹脂系ひび割れ注入材の品質規格  
国土交通省土木補修用エポキシ樹脂注入材1種適合品

試験項目	単位	試験方法	養生条件	アルファテック340S	アルファテック340W	規格値(1種)
粘度	mPa·s	JIS K 6833	-	600	500	1000 以下
可使用時間	min	温度上昇法	-	50	30	30 以上
硬化収縮率	%	JIS A 6024	-	1.5	1.5	3.0 以下
接着強さ	N/mm <sup>2</sup>	JIS A 6024	乾燥	6.5 MF	6.5MF	6 以上
			湿潤	5.0 MF	5.0MF	3 以上
付着力耐久性保持率	%	JIS A 6024	-	70	70	60 以上

3 硬化樹脂の性状

試験項目	単位	試験方法	養生条件	夏用	冬用
圧縮強度	N/mm <sup>2</sup>	JIS A 6024	23℃×7日	80	80
圧縮弾性率	N/mm <sup>2</sup>	JIS K 7181	23℃×7日	1600	1600
曲げ強度	N/mm <sup>2</sup>	JIS K 7171	23℃×7日	70	70
引張強度	N/mm <sup>2</sup>	JIS K 7161	23℃×7日	30	30
圧縮せん断接着強度 (セメントモルタル相互)	N/mm <sup>2</sup>	JIS K 6852	23℃×7日(気中)	5 MF	5 MF
			23℃×7日(水中)	5 MF	5 MF
引張せん断接着強度 (鋼材相互)	N/mm <sup>2</sup>	JIS K 6850	23℃×7日(気中)	20 COF	20 COF
			23℃×7日(水中)	18 COF	18 COF
付着性	N/mm <sup>2</sup>	JIS K 5600	23℃×7日	2 CF	2 CF
衝撃強さ	N·mm/mm <sup>2</sup>	JIS K 7111	23℃×7日	4	4
硬度	シヨアーD	JIS K 7215	23℃×7日	80	80

※MF:セメントモルタル破壊 CF:コンクリート破壊 COF:接着剤破壊

※本記載の物性は当社研究室で採取した代表結果であり、保証値ではありません。

使用方法

- ① 施工面の粉塵、油分等を除去して下さい。
- ② 主剤・硬化剤を混合比に従い計量、混合し空気の巻き込み  
に注意し十分に攪拌して下さい。
- ③ 一度に混合する量は可使用時間内に使いきれれる量として下さい。
- ④ 器具に付着したり、はみ出した樹脂は硬化する前にアセト  
ン等有機溶剤でふきとって下さい。
- ⑤ 注入後エポキシ樹脂が硬化するまで、施工個所に振動や  
衝撃を加えないように養生して下さい。
- ⑥ 施工は5℃以上の環境で行って下さい。

容器形態

10.0kg/9.0Lセット	
主剤	6.7kg (角缶)
硬化剤	3.3kg (角缶)
3.0kg/2.7Lセット	
主剤	2.0kg (丸缶)
硬化剤	1.0kg (プラスチックボトル)

※製品改良のため、予告なく記載事項を変更することがあります。

注意事項

- ・直接皮膚に接触すると、カブレを生じることがありますので、取り扱いに注意して下さい。
- ・取り扱いには保護具(保護メガネ、ゴム手袋、マスク等)を着用し、換気を充分に行ってください。
- ・樹脂が皮膚に付着した場合は速やかに拭き取り、石鹸水等でよく洗い流して下さい。
- ・目に入った場合は多量の水で洗浄し、医師の診察を受けて下さい。
- ・使用にあたっては、MSDSをお読みください。
- ・S・W(夏用・冬用)の使い分けの温度目安は【S:15℃以上 W:5~20℃】です。